

# 令和7年度 学校評価 アンケート結果

## 1 実施方法

今年度の学校運営について、教職員、保護者、児童生徒、関係機関へのアンケートを令和7年11月25日～11月28日(保護者は12月1日まで)の期間で実施した。アンケートを集計し結果をまとめたものを、学校運営協議会委員から意見をいただき学校関係者評価とする。

今回の結果をもとに、学部・分掌等での反省会で改善を検討し、協議したものを次年度の運営計画に反映させる。

## 2 対象者

アンケート調査 教職員 53名(事務・現業職員含む)、保護者 43名、児童生徒 43名(各学部とも必要に合わせて聞き取りを併用)、関係機関 8名

## 3 アンケート項目

- (1) 教職員 学校運営計画の重点目標内5項目と、いじめ、体罰、働き方改革等に関する質問14項目
- (2) 保護者 教育活動、学校生活、学校との連携、いじめ、体罰等についての質問12項目
- (3) 児童生徒 学校生活、学習内容、いじめ等に関する質問9項目
- (4) 関係機関 教育活動、学校との連携、いじめ、体罰等についての質問12項目

## 4 アンケートのまとめ

### (1) 教職員

ア 教員(46名回答:回収率100%)

肯定的評価(A:そう思う、B:だいたいそう思う)の割合は全体の平均が96%で高い評価である。

高い評価項目は3「指導計画に応じた支援」、4「実態に応じた指導」、8「進路指導部・機関と連携した支援」、12「体罰・不適切指導の予防」、13「安心・安全な環境整備」が100%である。

評価が低かった項目は5「授業改善」(89%)、14「業務改善」で82%である。この2項目は昨年度より数値は上昇しているが依然として相対的に低い。なお、その他の項目は全て90%以上の評価である。

自由記述では、授業改善の取り組み強化(互見授業の取り組みについて)、業務改善への意見(業務分担の平準化や属人化の解消等)、児童生徒への関わり方の見直し提言等、様々な記載があった。特に業務改善等については、具体的に課題を明らかにしながら解決案を検討し、改善点を次年度以降の計画に生かしていく必要がある。

イ 事務現業(7名回答:回収率100%)

肯定的評価の割合は、全ての項目で100%であった。昨年度課題であった3「ワンハートボックス」の適正な運用については、令和7年度内に全職員に説明があったことで適切に運用が始まっていると想定される。

### (2) 保護者(21名回答:回収率49%)

肯定的評価の割合は、5「病弱教育の専門性」以外の項目で100%であった。今年度は、オンライン回答と用紙配付回答を併用したことで回収率が上がり(オンライン11、用紙回答10(R6:39%))、より多くの方から意見をいただくことができた。

肯定的な自由記述も見られ、学校への信頼や期待の高さがうかがえる。

### (3) 関係機関(6名回答:回収率75%)

肯定的評価の割合は96%であり、昨年度からはやや下がったものの高い水準である。これまでと同様に

連携を保つことを基本としながら、具体的な部分で要望にある「看護師との連携」を手厚く取り組むことで、関係機関連携の評価が上がっていくことが期待される。

12「地域貢献」については、例年数値が低く、自由記述にある「分からない」が代表意見と想定される。関係機関に届く地域貢献の姿について方策が必要と考える。

#### (4) 児童生徒 (38名回答：回収率 88%)

肯定的評価の割合は平均で95%であり、昨年に続き高い評価である(R6:92%)。学部ごとに比較すると、小学部 100%、中学部 100%、高等部 86%で、概ね好評価である。

高い評価の項目は、小学部 1「きまりを守る」、2「行事・児童会活動」、中学部 1「社会性」、2「委員会・行事」、3「授業のわかりやすさ」、7「いじめ防止」、9「本校で学んでよかった」、高等部 6「相談できる先生」がそれぞれ 100%である。どの学部でも 2 の項目で高い評価が出ており、児童生徒が学校行事等への取組を肯定的に評価していることが分かる。

低い評価の項目は、小学部 4「授業や課題への取り組み」63%、8「安心安全」75%、中学部 4「授業や課題への取り組み」75%、5「進路」75%、高等部 4「授業や課題への取り組み」77%である。過去3年を通しても項目 4 が共通して低く出ており、本校の児童生徒については、「授業にまじめに参加し学習」することについて自己評価の低さがあることがうかがえる。

自由記述欄では、暴力的な行動や「いじめ」という表現が散在して見られるなど、人間関係のトラブルについて記述が多い。内容については、生活指導部と情報共有し対応する。

また、各学部を通じて「何でも相談できる先生がいる」の評価が比較的高いことから、児童生徒から先生方への信望の厚さが見える。ただし、「ネタにされる」という記述もあるため教職員も振る舞いには気をつける必要がある。

いただいた評価・ご意見にもとづき、今年度の反省点、改善提案を次年度に生かしていきたい。